

# 平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人...チヨウタリイの会

## 1 事業の成果

年度変わり早々の 4 月 25 日にネパールの中部でマグニチュード 7.8 のネパール大地震が起きました。そのため当法人では、「災害復興協力事業」の緊急支援活動として同震災の被災者支援を行いました。

4 月 26 日より緊急募金活動を行い、現地スタッフ及びカウンターパート等に連絡を行い、安否及び状況確認を致しました。4 月 29 日よりお米 2000 袋を調達し、被災地であるシンドゥパルチョーク郡のバラビセ及びラムチェに食糧支援を開始しました。



また、カウンターパートの TEWA を通じてラリトプル市ドゥクチャップの妊産婦 21 人に対して妊婦用品と現金の支援を行いました。妊産婦には、赤ちゃんの服、毛布、お米、生理用ナプキン、下着、石鹼、バケツを一つのセットにして配布しました。この支援においては、妊産婦用品など特別な物資を提供する NGO が他になかったので大変喜ばれました。また、ラリトプル市ジャワラクヘルチョーク（障害者キャンプ）において、子どもも含めて家を失った 56 人の障害を持っている人たちに、お米、スパイス、たまご、衛生用品、毛布を配布しました。またその地域の人たちにも毛布を配布しました。

さらにラリトプル市での子どもたちへの玩具の配布、ダーディン郡チャタダウリ、ヌワコット郡バンタン、カブレパランチョーク郡ナラにおいても救援支援物資を配布しました。

また、カウンターパート LGN を通じて、カブレパランチョーク郡、マクワンプル郡、シンドゥパルチョーク郡の被災した公立学校 12 校に金属板を購入し仮設校舎の建設を行いました。



これらの活動において当法人から現地のスタッフの他、日本より 3 名が現地に出向きました。また震災で親を亡くした子どもたちへの支援活動を行いました。

「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」では、タイにおいて HIV に感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行いました。

インドネシアにおけるストリートチルドレン等の子どもたちへの就学等の支援及びスラム地区のフリースクールに対する支援、インドにおけるコルカタのスラム地区の 3 つのフリースクールに対する支援については、現地のスタッフ、カウンターパートとこれからの支援について協議しました。

また、これらの支援活動については、講演会や国際イベントなどにおいて、フリースクールの役割、貧困や教育格差の問題などを写真やパネル等により来場者に説明しました。

当法人の主要事業である「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人がネパール国内で建設支援を行っている公立学校のティラウラコット学校、ギャネショリイ学校、ジャナヒット学校の3校の新校舎が完成しました。

また、前期より建設中のナラヤンシタン学校、ナバ・プラティバ学校の2校の学校もほぼ完成し、さらに期中において、シャーミック・バルビギャン学校の1校の新校舎の建設支援事業を開始しました。

同事業の成果としては、新校舎が完成した当該4校の教室不足の問題はほぼ解消しました。これまで教室不足のため学校に通えなかった当該4校の地域の子どもたちが学校に通うことができるようになりました。また、校内の環境が安全になり、雨天でも授業を行うことができるようになりました。

さらに、教師や生徒においては、教育や勉学に対する意欲が高まり、また地域の人々も女子を含めた教育の重要性をより深く認識してもらえたものと思います。



当法人が建設支援を行っている校舎は、全て耐震構造により建設しています。したがって、災害時には被災者のための避難所としての機能も兼ね備えており、このたびのネパールでの震災においても破損した校舎はなく、地域の避難所として新校舎が利用されました。支援学校地域の安全に貢献できるものとなりました。

新校舎建設支援事業に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」として2015年4月にティラウラコット学校、プルナケシャー学校の2校、2016年1月にダプチャ学校、バルジョティ学校、ギャネショリイ学校の3校、期中において合計5校の新校舎の開校式に日本の支援者約20人と共に出席しました。ネパール側も生徒、教師、地域の人々などが多数出席して日本とネパール両国の歌や踊りも交えて和やかに開校式が行われました。



これらの活動の成果として、当該5校の地域の人々に教育の重要性を認識してもらい、また民間レベルにおいての日本とネパールとの交流を大いに深めることができました。

「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業」では、インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料でお産の処置を行っている助産院ヤヤサン・ブミ・セハットへの支援を行いました。

当法人では、任意団体時の2007年より同助産院に対し支援を行っています。

同事業の成果としては、同助産院の運営が安定して行われ、バリ州における経済的に貧しい妊産婦が安心



して出産できる体制が確保されました。そのため妊産婦や新生児の死亡率の低下に貢献しています。また、同事業においてインドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設ヤヤサン・プルマタ・バリへの支援についての協議を行いました。同養護施設には、任意団体時の 1999 年より支援を行っており、その成果として多くのストリートチルドレンと呼ばれる子どもたちが、同養護施設の保護のもと、学校に通い、安全にのびのびと日々の生活を健やかに送ることができています。

「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業」では、インドネシアにおける助産師不足の解消を目的とした助産師養成のための就学支援について、前期において養成期間が修了したため、新たな支援についての協議し検討を行いました。当期においては支援の要請が為されませんでした。同支援活動の成果においては、まだ結果はでておりませんが、将来において助産師の増加に伴いインドネシアの妊産婦や新生児の死亡率の減少につながるものと考えております。

「HIV 及び AIDS の予防を目的とした啓発事業」では、タイの現地 NGO サイアム・ケア・ファンデーションと協働で行っており、これからの活動について連絡を取り合い協議しました。同事業は、当法人が任意団体時の 1998 年より行っております。成果としては、医学の発展も大きな要因ではありますが、感染予防の啓発が人々に周知され、事業開始当時に比べて感染率が減少し、感染患者の死亡率も低下しました。

「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、自立を目指す人々の製品の技術等の支援をネパールでのカウンターパートの TEWA と協働で行いました。特に農村での女性の自立に向けた技術支援を行いました。その人たちが作ったクラフト製品は、カトマンズなどのフェアトレードの店でも販売されています。当法人では、当期においてもそれらの製品の紹介を行いました。

「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、



「奈良県多文化共生推進、国際化モデル事業」として奈良県からの補助を受け、「奈良多文化共生音楽祭 2016」を 1 月に奈良市の学園前ホールにて開催致しました。当音楽祭では、世界の多様な音楽文化や他国の人々の暮らしを知ることにより、それらの国々の人々の文化や生活について理解を深め、共に平和に生きることができる多文化共生社会の実現を推進することを目的として開催しました。日本でのアラブ音楽の第一人者でウード奏者の常味裕司氏をはじめ、北インド宮廷音楽、フルートと

ピアノの演奏など合計 6 組の音楽グループが出演しました。

会場である学園前ホール（定員 304 席）は、満席となりロビーのモニターで 200 名以上の方が鑑賞して頂くほど多くの方が来場して頂きました。

また同音楽祭では、当法人の海外での活動についてプロジェクターを使って説明しました。

来場者へのアンケートの回答においても「とても良かった」と「良かった」が 100%を占め地域の人々に多文化共生の推進の意義を深めて頂くことができました。

当法人の機関紙「チョウタリ通信」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。

また、大阪市内で当法人の事業活動についての講演を支援者に行いました。

「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、当期においても西日本最大の国際協力と交流のイベントであるワン・ワールド・フェスティバルにブース出展しました。

当法人の活動内容などを多くの人々に説明することができました。

「社会教育及び政策提言事業」において、当期より子どもたちが、語学や社会的な知識を身につけ国際社会に対応できる人材として健全に育成するため、幼児に英語を楽しく身につける英会話教育を行いました。

「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援は、当法人が任意団体時よりきもの地等を被災地の女性グループに送り、クラフト製品作りの協力を行っています。期中においては、奈良市内にて同事業における女性の仕事作り支援のためのクラフト製品の素材となるきもの地等の寄附の呼びかけを行い、また、商品開発のためのデザインの構想、サンプル品の作成などを行いました。

同事業の成果においては、依然として生産力の向上や販路の開拓などの課題はありますが、魅力ある製品が製作されており、技術力の向上を感じることができました。



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額(千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	8名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10名	449
	インドネシアにおけるストリートチルドレン等の子どもたちへの就学等の支援のための会議を行った。	通年	インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 奈良市	5名	養護施設等で保護されている子どもたち約25名	64
	インドネシアにおけるスラム地区のフリースクールに対する支援のための会議を行った。	通年	インドネシア デンパサール市 奈良市	5名	フリースクールに通う子どもたち約30名	64
	インドにおけるスラム地区3校のフリースクール支援のための会議を行った。	通年	インド コルカタ 奈良市	8名		64
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校3校の新校舎が完成した。さらに1校がほぼ完成し、新たに1校の新校舎の建設支援を開始した。	通年	ネパール ルンビニ県 カブレパランチョーク郡	18名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等	11,615
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院への支援を行った。	通年	インドネシア ギャニャール県	3名	同助産院地域の住民等	120
	インドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設への支援のための会議を行った。	通年	インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 奈良市	5名	養護施設の子どもたち約25名	62
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	インドネシアにおける助産師不足の解消を目的とした助産師養成のための会議を行った。	通年	インドネシア ギャニャール県 奈良市	3名	助産師をめざす学生及び助産師不足の地域住民等 多数	2

HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	タイにおいての現地 NGO との協働による HIV 及び AIDS の予防啓発活動のための会議を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県 奈良市	5名		62
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	タイにおいて現地 NGO との協働による HIV 及び AIDS 感染者人権擁護に関するセミナー等の開催。 今年度は、実施しない。	実施せず				0
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	途上国における自立を目指す人々の製品の技術等の支援及び日本国内での製品の紹介を行った。	通年	ネパール インドネシア 奈良市	14名	生産者及び授産施設で働く人々 約30名	291
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	途上国等における、経済格差による貧困等の実態調査及び研究等。 今年度は、実施しない。	実施せず				0
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	事業活動についての講演を行った。	通年	大阪市 奈良市	3名	不特定多数	198
	機関紙「チョウタリ通信」を作成した。	6月	奈良市	3名	不特定多数	155
	奈良多文化共生音楽祭2016を開催した。	1月	奈良市	10名	来場者 約600名	606
社会教育及び政策提言事業	国際社会に対応するための幼児に対する英会話教育。	通年	橿原市	3名	幼児 約50名	543
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	ワン・ワールド・フェスティバルに出展した。	2月	大阪市	6名	来場者 多数	120
災害復興協力事業	ネパール大地震被災者支援を行った。(食糧、日用品等の緊急物資支援、仮設校舎建設支援、地震孤児支援等)	通年	ネパール シンドゥパルチョーク郡 カブレパランチョーク郡 ラリトプル市 ダーディン郡 ヌワコット郡 マクワンプル郡 奈良市	16名	被災者多数	2, 319
	東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。	通年	巨理郡 奈良市	3名	被災地の女性 約10名	97

国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおける公立学校5校の新校舎完成の開校式に出席した。 また、カトマンズの小規模の私立学校を訪問し交流した。	4 月 1 月	ネパール ルンビニ県 カブレパランチョーク郡 カトマンズ	12名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等	1,569
--------------------------	--	------------------	---------------------------------------	-----	---------------------	-------

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	イベント開催事業 今年度は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	カルチャー教室 今年度は実施しない。	実施せず			0

\* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。